

# 結果報告書

## 大道筋における滞留空間の創出に関する 社会実験「レールサイドテラス」について

令和8年2月 堺市

1. 実施概要 .....	2 ～ 3
2. 実施内容詳細 .....	4 ～ 8
3. アンケート調査結果 .....	9 ～ 14
4. 総括 .....	15 ～ 21

# 1. 実施概要

## (1) 実施目的

- ・公民連携での大道筋の利活用の可能性と課題の抽出
- ・近隣住民への取組の周知、理解促進

## (2) 実施内容

- ・歩道空間でのベンチ等のストリートファニチャーの設置による滞留空間を創出

## (3) 実施期間

- ・令和7年11月1日（土）～7日（金）
- ※滞留空間の設置時間は場所ごとに設定

## (4) 実施主体

- ・堺市 建築都市局 都市整備部 都心未来創造課
- ・大阪公立大学 景観計画学研究室・建築計画研究室

## (5) 調査内容

- 今後の大道筋の利活用に向け、利用者の評価や意見などをアンケート調査により把握
- ・アンケート回答数：151件（7日間）
  - ・調査方法：利用者へアンケート調査票を配布し、その場で回収

# 1. 実施概要

## (6) 滞留空間設置場所



### (参考) 沿道の公共空間での同日開催イベント

- ・元堺消防署：11月1日～7日 CANGO TRIAL WEEK 2025 vol.2 (主催：堺市)
- ・ザビエル公園：11月1日 ヒト巡る、市場 (主催：ヒト巡る、市場実行委員会)
- ・戎島DOCK (内川)：11月2日 エビスジマコテビエール (主催：sakainoma)

# 1. 実施概要

## (7) 滞留空間設置物一覧

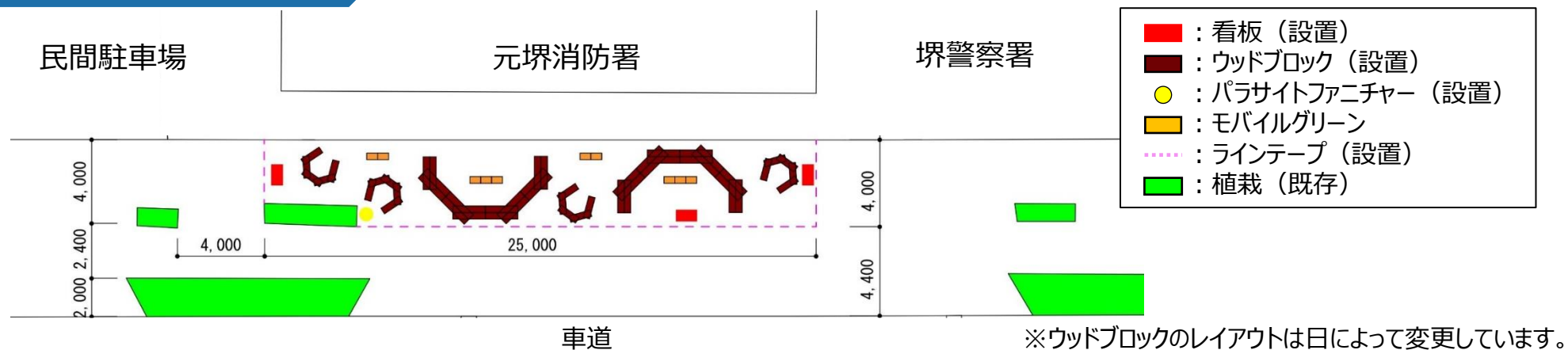
設置物	凡例	写真	設置物	凡例	写真
看板			パラサイト ファニチャー		
ウッドブロック			モバイル ガーデン		
テーブルチェア セット			ラインテープ		

## 2. 実施内容詳細 (滞留空間①：元堺消防署前)

### (1) 実施日時

1日（土）～7日（金）：10時～17時

### (2) 配置図



### (3) 当日の様子



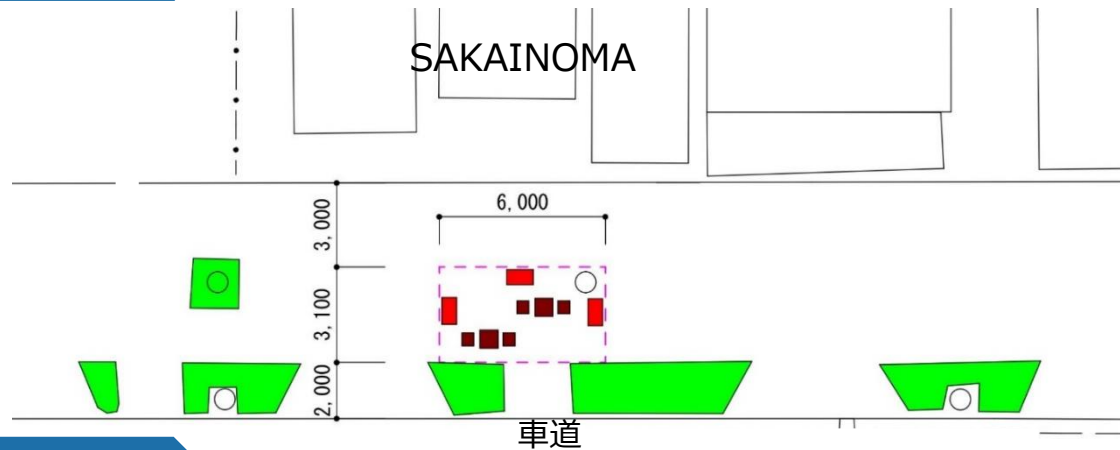


## 2. 実施内容詳細 (滞留空間② : SAKAINOMA前)

### (1) 実施日時

1日(土)～5日(水) : 9時～17時

### (2) 配置図



### (3) 当日の様子

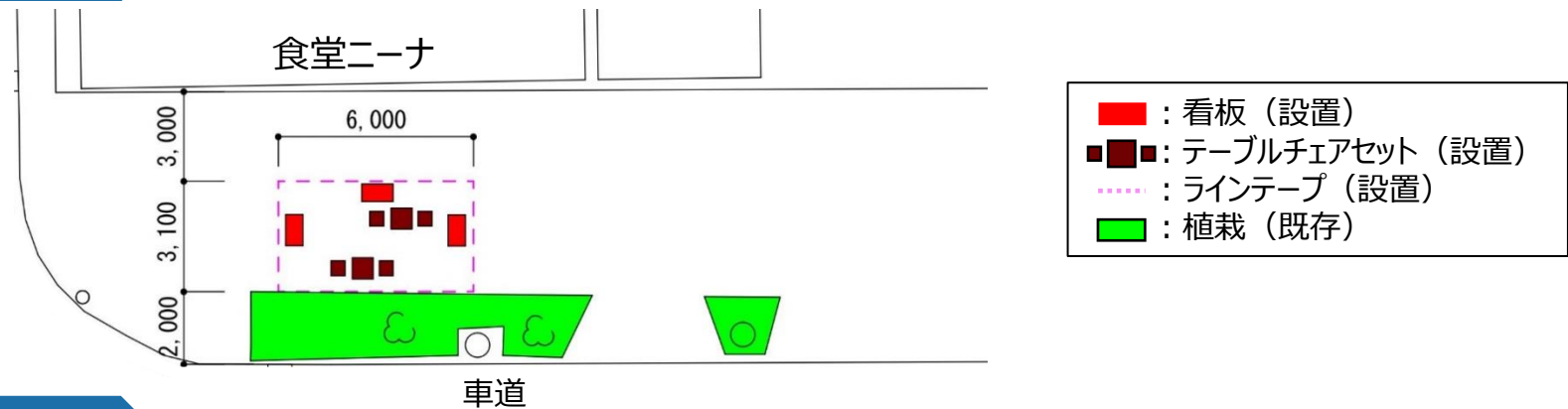


## 2. 実施内容詳細 (滞留空間③：食堂二ナ前)

### (1) 実施日時

1日(土)、2日(日)：11時半～14時半、18時～21時  
3日(月・祝)、6日(木)、7日(金)：18時～21時

### (2) 配置図



### (3) 当日の様子



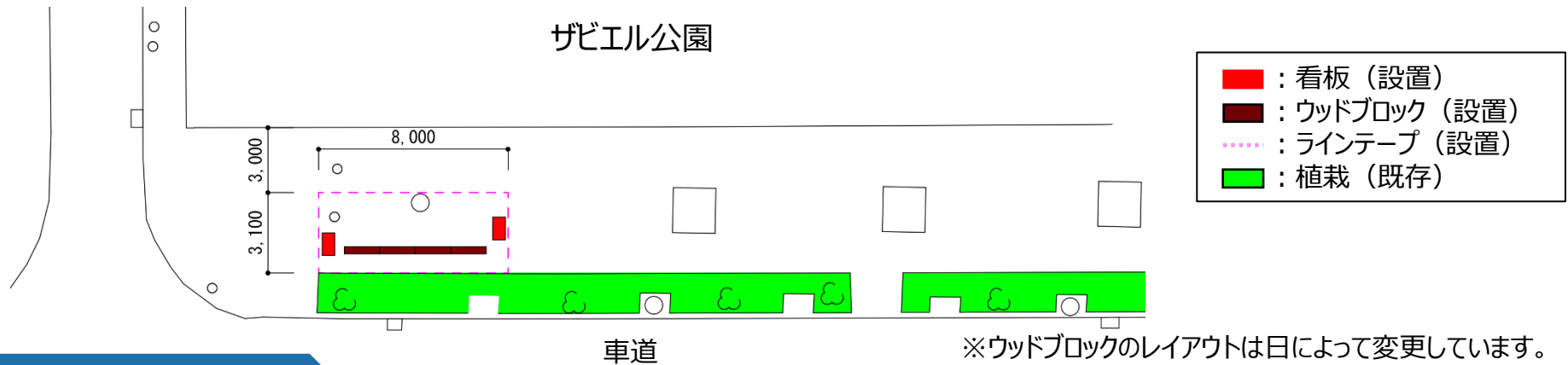


## 2. 実施内容詳細 (滞留空間④：ザビエル公園前)

### (1) 実施日時

1日（土）～7日（金）：10時～17時

### (2) 配置図



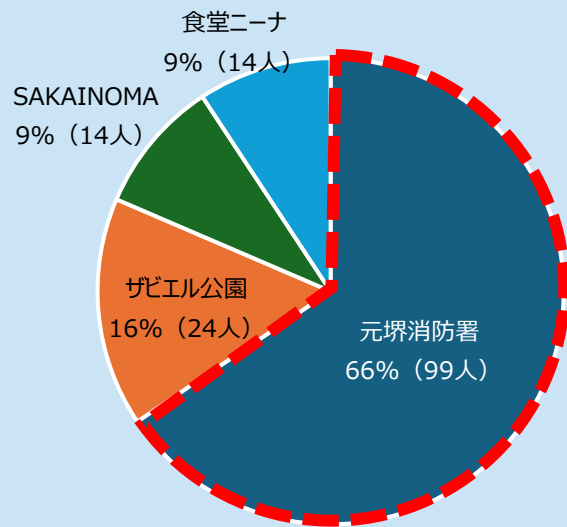
### (3) 当日の様子



### 3. アンケート調査結果

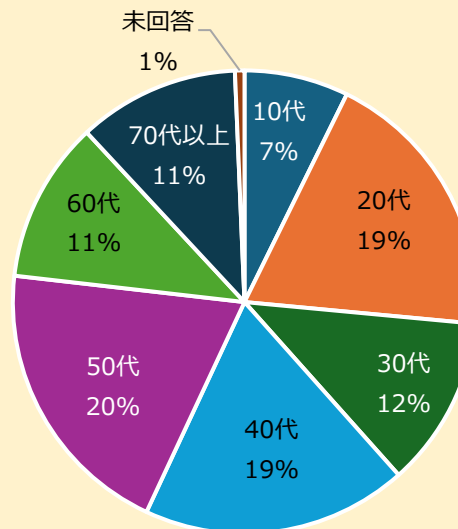
#### (1) 回答場所及び利用者属性

##### 回答場所



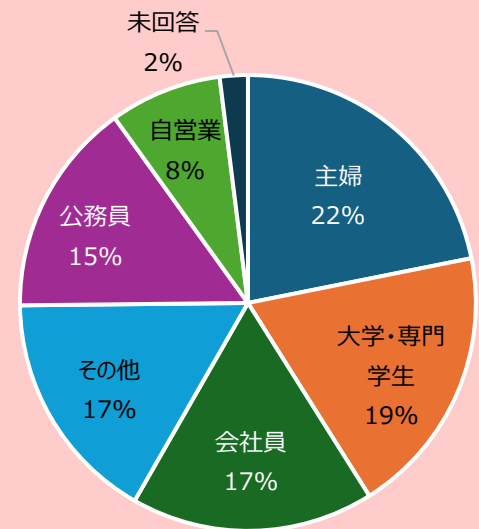
「元堺消防署」での回答が66%と最も高く、次いで「ザビエル公園」が16%、「SAKAINOMA」「食堂コーナ」が9%であった。

##### 年代



「50代」が20%と最も多く、「20代」「40代」が19%、「50代」「70代」が11%、「10代」が7%であり、様々な世代が利用していた。

##### 職業

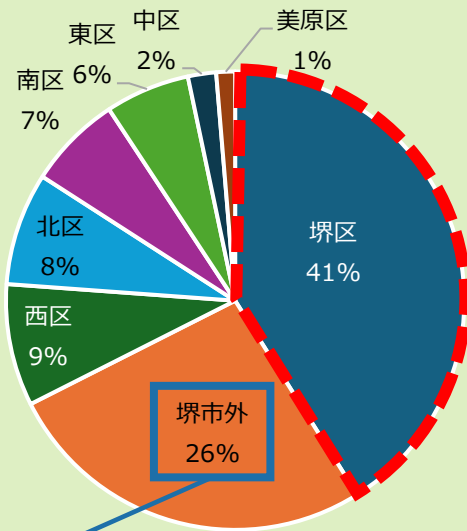


「主婦」が22%と最も高く、次いで「大学・専門学生」が19%、「会社員」「その他」が17%、「公務員」が15%であり、様々な職業の方が利用していた。

### 3. アンケート調査結果

#### (2) 利用者属性

##### お住まい

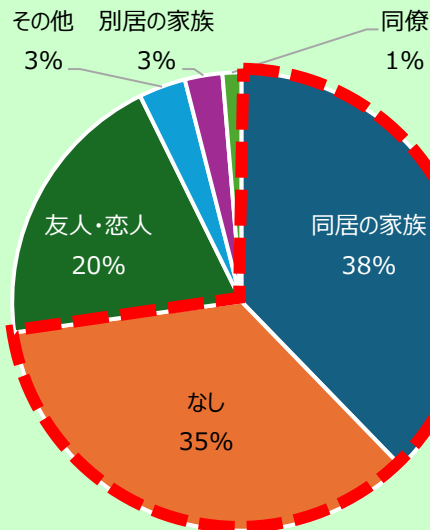


主な堺市外のお住まい

- ・大阪市（11人）
- ・和泉市（4人）
- ・河内長野市、高石市、大阪狭山市、枚方市、奈良県（それぞれ2人）など

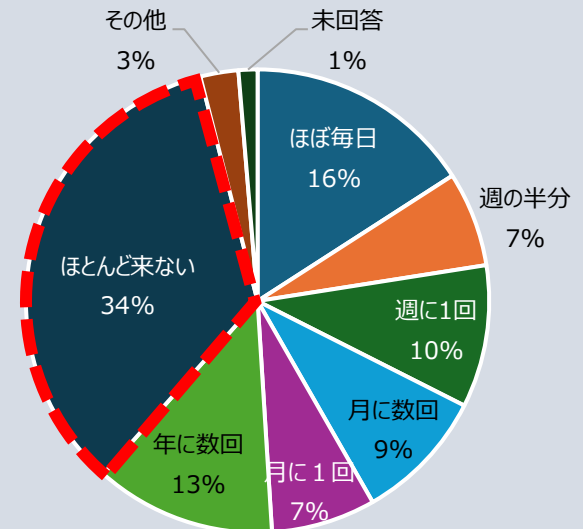
「堺区」が41%と最も多く、その他の堺市内の区からの来訪はそれぞれ10%未満であった。また、堺市外では大阪市や和泉市などの近隣市からの来訪もあった。

##### 同伴者



「同居の家族」が38%と最も多く、「同伴者なし」（＝1人）が35%であった。

##### 大道筋への来訪頻度

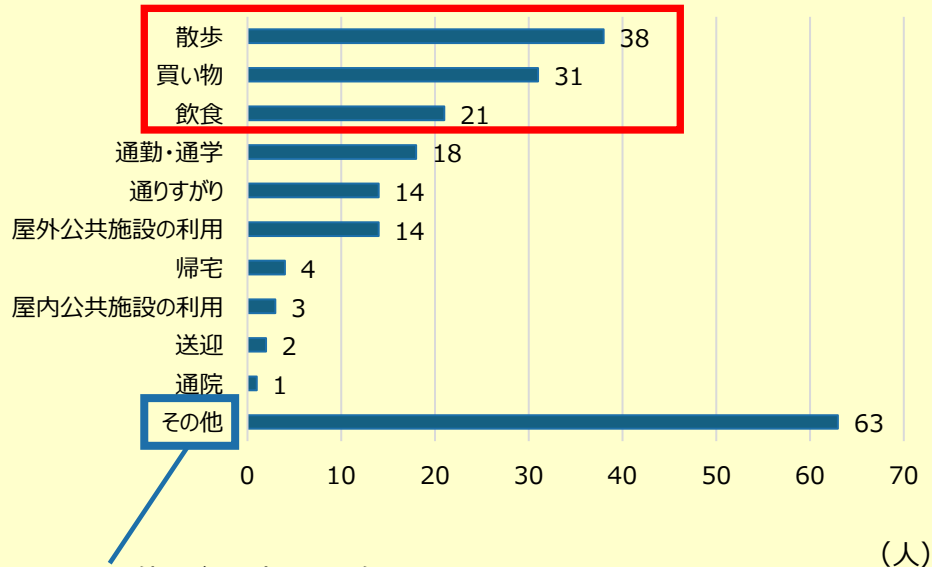


「ほとんど来ない」が34%と最も高く、次いで「ほぼ毎日」が15%、「年に数回」が13%であった。

### 3. アンケート調査結果

#### (3) 来訪目的ほか

大道筋への主な来訪目的（複数回答可）

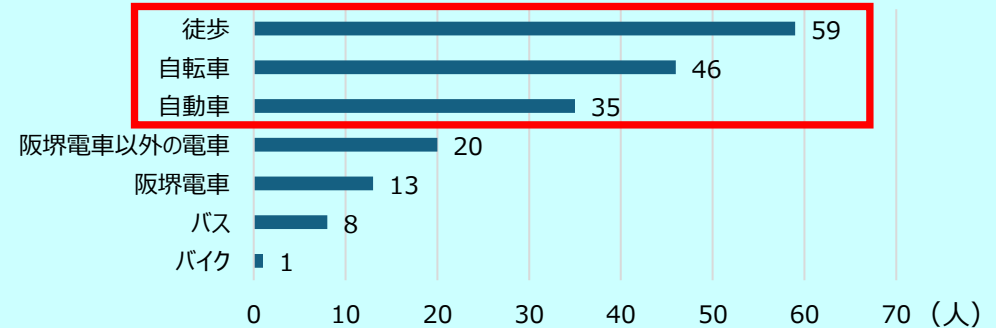


その他の主な来訪目的

- ・大阪公立大学学生の視察（21人）
- ・イベント（エビスジマコテリビエールなど）（18人）
- ・ポルトガルパビリオンのアート作品制作見学（10人）など

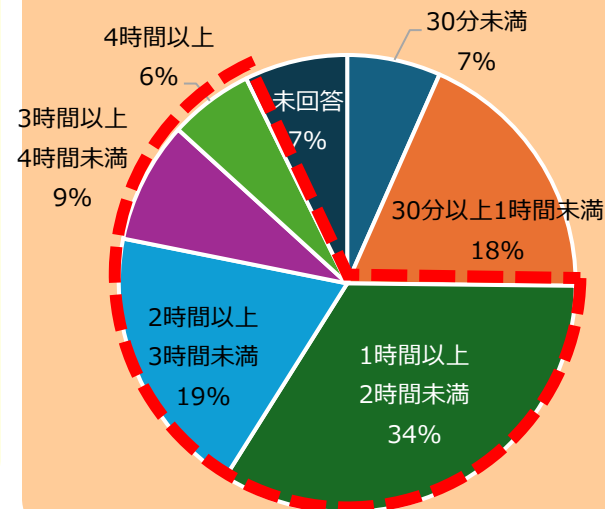
「散歩」が38人と最も高く、次いで「買い物」が31人、「飲食」が21人であった。その他では、「大阪公立大学大学生の視察」が21人、近隣で開催されていた「イベント」が18人であった。

大道筋への主な交通手段（複数回答可）



「徒歩」が59人と最も高く、次いで「自転車」が46人、「自動車」が35人であった。

大道筋での滞在時間



「1時間以上2時間未満」が34%と最も高く、次いで「2時間以上3時間未満」が19%、「30分以上1時間未満」が18人であった。

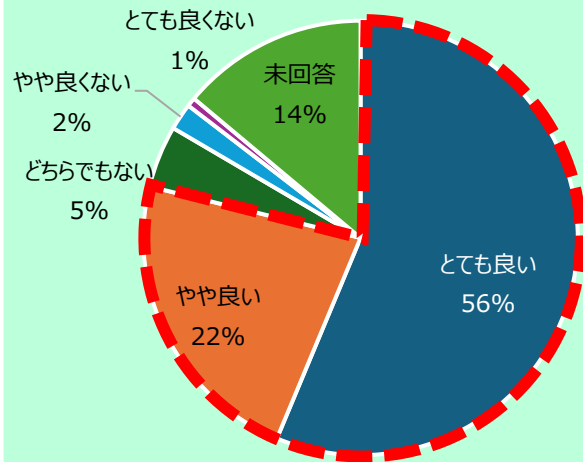
7割近くが1時間以上の滞在していた。



### 3. アンケート調査結果

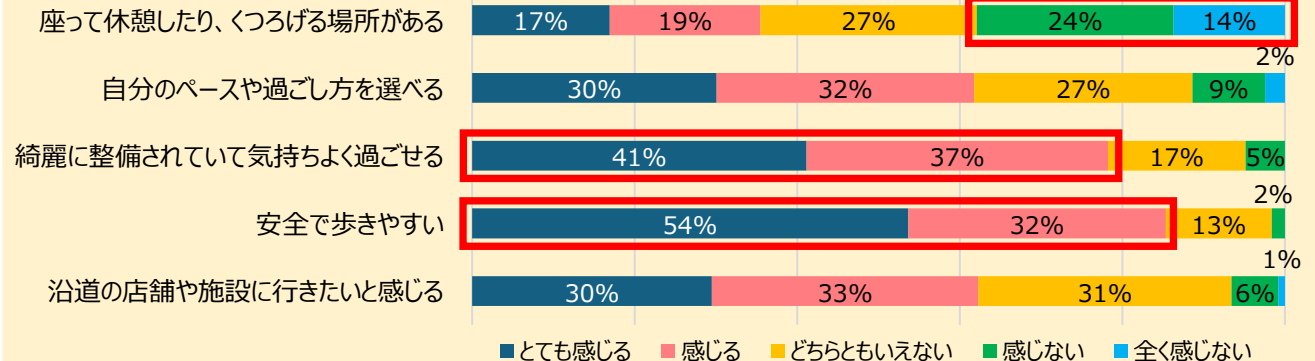
#### (4) 社会実験について

#### 歩道空間を活用したことについて どう思うか



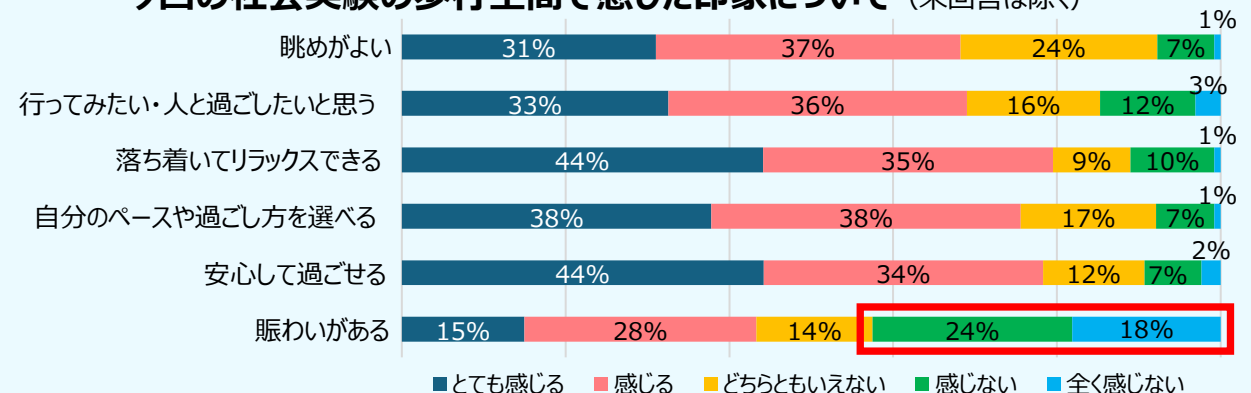
「とても良い」が56%、「やや良い」が22%と、8割近くが歩道空間を活用したことについて肯定的であった。

#### 普段の大道筋に感じる印象について（未回答は除く）



「綺麗に整備されていて気持ちよく過ごせる」と感じる人が78%、「安全で歩きやすい」と感じる人は86%であった。一方で、「座って休憩したり、くつろげる場所がある」と感じない人が38%と、他の項目と比べて否定的な印象の割合が大きかった。

#### 今回の社会実験の歩行空間で感じた印象について（未回答は除く）



「賑わいがある」と感じない人が42%と、他の項目と比べて否定的な印象の割合が大きかった。一方で、他の項目での肯定的な意見は半数以上であった。

### 3. アンケート調査結果

#### (4) 社会実験について

今回の社会実験を通じてストリートファニチャーを利用し、大道筋に関する印象は変わったか（自由記述） ※以下抜粋

##### 利用前

● 知らなかった、初めて来た

⇒「そもそも場所を知らなかった」「初めて来た」「聞いたことがなかった」など（24件）

● 滞在せずに通過する場所

⇒「何もないので通り過ぎるだけ」「ただの道」「車しか通っていない印象」など（19件）

● 人通りが少ない、さみしい

⇒「普段人通りはほぼない」「歩いていても楽しくない」「閑散としている」など（17件）

● 道路が広い、歩きやすい

⇒「歩道が広く安全に歩ける」「快適に歩ける」「道が広く夜も明るいため安心できる」など（9件）

##### 利用後

● 心地よくて、滞在できる

⇒「ランチしながらゆっくり景観を楽しめるのがよい」「広い歩道を活かしてリラックスできる」「外でくつろぐのもいい」「気軽に集まれる場所」など（29件）

● イベント、賑わい

⇒「賑わいが出て楽しげな雰囲気」「イベントの際はこうした空間利用をしてほしい」「イベントがあればまた来てみたい」など（23件）

● 座れる、休憩できる

⇒「座れる場所があるのは良いこと」「散歩の途中で休憩できる場所があってうれしい」「木のベンチが良い」など（19件）

● 広さを生かした活用

⇒「広い歩道は有効に活用すべき」「色々な活用や試みができる場所だと思った」「道幅が広くてよい」など（8件）

● その他

⇒「ストリートファニチャーの範囲が狭く居心地が良くなかった」「変化があると感じなかった」「さみしい」など（5件）

### 3. アンケート調査結果

#### (4) 社会実験について

今後、大道筋がどうなってほしいか（自由記述） ※以下抜粋

● 緑や花を増やして、きれいに整備してほしい

⇒「緑や花をきれいにしてほしい」「草花を増やすこと」「殺風景に感じるので花などが欲しい」など（27件）

● 人が集まる“賑わい”の創出

⇒「人が集まって賑わってほしい」「人通りが増えてほしい」「イベントの頻度を上げてほしい」など（27件）

● 座れる・休憩できる場所の増加

⇒「散歩中に座れる場所がほしい」「ひと休みできる場所がほしい」「憩える場所」など（15件）

● 店舗・飲食の充実

⇒「お店が増えてほしい」「人に紹介できる店」「外で食事できる空間」など（12件）

### (1) 社会実験全体の評価

- 今回の社会実験で**歩道空間を活用したこと**について、アンケート回答者の56%が「とても良い」、22%が「やや良い」と回答し、**8割近くが肯定的な意見**だった。
- 「今回の社会実験で大道筋に関する印象は変わったか」について、利用前には、「そもそも場所を知らなかった」「何もないので通り過ぎるだけ」「閑散としている」といった意見が多かった一方、**利用後**には、「外でくつろぐのもいい」「イベントがあればまた来てみたい」「座れる場所があるのは良いこと」など、**活用を評価する意見が多く見られた**。

#### まとめ

ストリートファニチャー利用者の評価は高かったことから、**一定の利用ニーズはある**と考えられる。

また、今回の社会実験を通じて大道筋に関する印象が良いものになったことから、**ストリートファニチャーの設置や同日開催イベントとの連携が大道筋の魅力向上に寄与した**と考えられる。

### (2) 歩道空間に関する意見

- 普段の大道筋に対して「**座って休憩したり、くつろげる場所がある**」と感じない・全く感じないとの回答が38%であった。
- 一方で、「今後大道筋がどうなってほしいか」について、**花や緑の整備を求める意見**が27件、**座れる・休憩できる場所を求める意見**が15件、「人が集まって賑わってほしい」「イベントの頻度を上げてほしい」など**人が集まる賑わいを求める意見**が27件があった。

#### まとめ

大道筋には、下記の2点が求められていると考えられる。

- ① 緑や花に囲まれながら歩いたり、休憩できる憩いの場
- ② 周辺とのイベント連携などによる賑わいや交流の創出



### (3) 滞留空間の評価

#### 滞留空間①：元堺消防署前

- CANGO TRIAL WEEK 2025 vol.2が開催され、マルシェやワークショップなど多様な企画が実施されていた。そのため、**来場者は休憩や飲食の場としてストリートファニチャーを積極的に利用**しており、その様子を見た**通行人も足を止めて利用**していた。
- **元堺消防署で生まれる賑わいが屋外へとにじみ出している**状況を確認できた。
- 一方で、**企画を実施していない日は、ストリートファニチャーを利用する通行人が少なかった**。
- ストリートファニチャーを利用しない歩行者や自転車で通行する人からは「**通りづらい**」「**危ない**」などの声もあった。

#### 利活用の可能性

- 1階でイベントなどの企画を実施する際には来場者及び通行人の利用が見られたため、**元堺消防署と歩道空間を一体的に活用**できる可能性があると考えられる。

#### 課題と対応

- 企画を実施していない日の利用が少なかった原因として、設置されたストリートファニチャーが「座っても良い場所」であることの認知が十分でなかったことが考えられる。歩行者に存在を知ってもらい利用を定着させるためには下記の対応が考えられる。

①**滞留空間としての認知度向上のため、継続的にストリートファニチャーを設置**

②**「座っても良い場所」であることがわかりやすく、かつ、誰でも気軽に座りやすい形状や設えといったデザインの検討**

- 通行人から「通りづらい」「危ない」などの声があったことから、通行の妨げにならないような歩道空間内での**配置場所や設置規模についての検討**が必要である。



元堺消防署前の様子

### (3) 滞留空間の評価

#### 滞留空間②：SAKAINOMA前・滞留空間③：食堂二ノ前

- 沿道事業者である飲食店2店舗と連携し、滞留空間②③でテラス席を設置することができた。
- 今回の社会実験で歩道空間を活用したことについて、テラス席利用の回答者（N=28）の86%が「とても良い」、7%が「やや良い」と回答しており、**テラス席の評価が高かった。**
- 沿道事業者などより、テラス席を含めた**空間デザインの改善**を求める声があった。

※テラス席の設置・撤収、管理などの維持管理は堺市と大阪公立大学で行った。

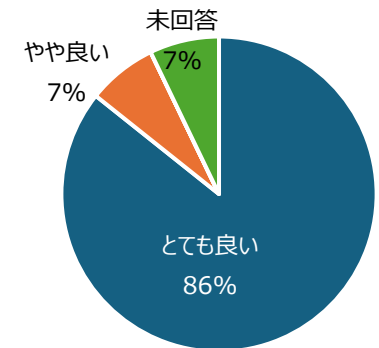
#### 利活用の可能性

- テラス席の実施主体となり得る沿道事業者が存在し、かつ利用ニーズも確認できたことから、**大道筋の歩道空間に日常的にテラス席を設置することへのニーズ**があると考えられる。

#### 課題と対応

- 空間デザインの改善を求める声があった原因として、通行注意の看板が工事現場のような印象を与え、かつ風景に馴染んだ空間になっていなかったことが考えられるため、**居心地の良いテラス席のデザインを検討**する必要がある。
- 日常的にテラス席を設置する場合は、行政側で維持管理をすることはできないため、**事業者側で維持管理を行うなどの仕組み**が必要である。

歩道空間を活用したことについて  
どう思うか  
(滞留空間②③のみ N=28)



飲食店前のテラス席

### (3) 滞留空間の評価

#### 滞留空間④：ザビエル公園前

- ・ ストリートファニチャーを**利用する人が少なかった**。
- ・ ストリートファニチャーの利用者や通行人より、「**座っていいものか分からなかった**」という声があった。

#### 利活用の可能性

- 今回の社会実験では利用者が少なく、**利活用の可能性の検証まで至らなかった**。

#### 課題と対応

- 「座っていいものかわからなかった」という声があった原因として、広い歩道空間に対してストリートファニチャーを歩道の一部に集積し、通行注意の看板などで囲ったことにより、**閉鎖的で利用しづらい設えになっていた**と考えられる。
- そのため**ストリートファニチャーの設置場所等や誰でも気軽に座りやすい形状や設えといったデザインを検討**する必要がある。



ザビエル公園前の様子



### (4) 近隣住民への取組の周知、理解促進

- 今回の社会実験を実施するにあたり、当該校区の自治会及び滞留空間を設置した沿道の住民に**大道筋の利活用に関する取組の周知**を行った。徒歩や自転車で来た人が多いことから、近隣住民が**ストリートファニチャー**を利用していたと考えられる。
- 一方で、社会実験中や近隣住民への周知を行う中で「この取組の意義がわかりにくい」「将来大道筋がどう変わるのか分からない」といった声もあった。

#### 必要な対応

今後も歩道空間利活用の取組を継続的に進めるためには、近隣住民や沿道事業者・企業等に対して、**環濠エリアがめざす将来像や歩道空間利活用の目的・意義を丁寧に説明し、取組に対する理解を深めることが必要**である。

